

# SumOn

by Markus Hagenauer

## はじめに

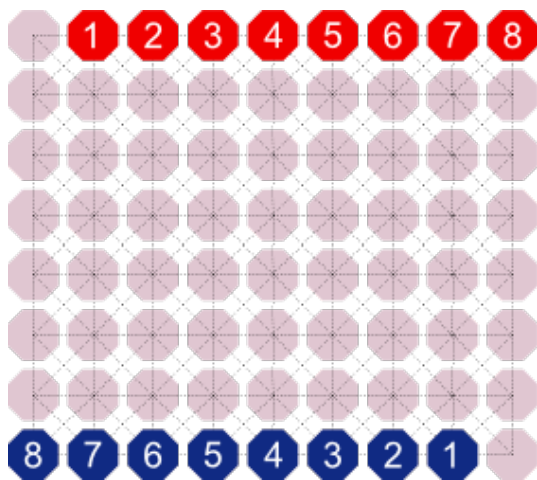
**Sum On (サムオン)** は、クレバーな連続手番を行う2人用抽象ゲームです。**自分のコマと相手のコマの両方**を使って次々と追加手番を行きましょう！

## 内容物

- 9x8マスのボード 1枚
- 1~8の番号が描かれた赤いコマ 8個
- 1~8の番号が描かれた青いコマ 8個

## 準備

番号が描かれた16個のコマを以下に示すようにボード上に配置します:



一方のプレイヤーは青で先手、もう一方のプレイヤーは赤です。自分のコマが一行に並んでいる側に座ります。

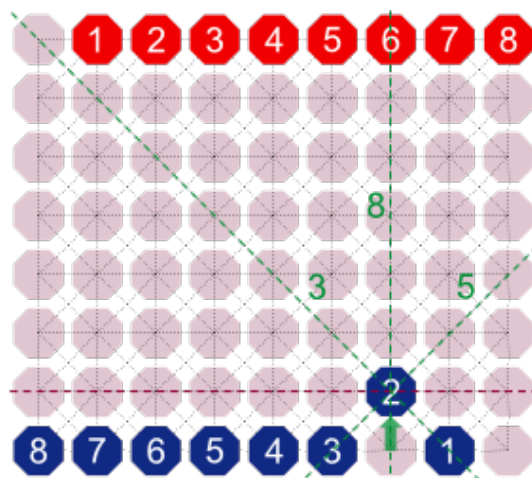
## 定義

コマを1個**移動**するとは、空きマスへ(前方か斜め前方に)1マス前進することです。横や後方には移動できません。

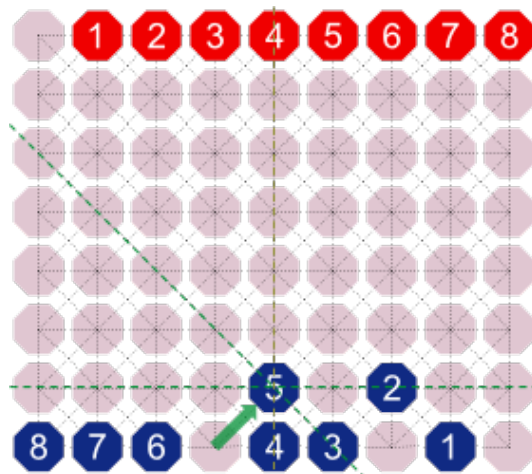
## 遊び方

手番では以下の手順を実行します:

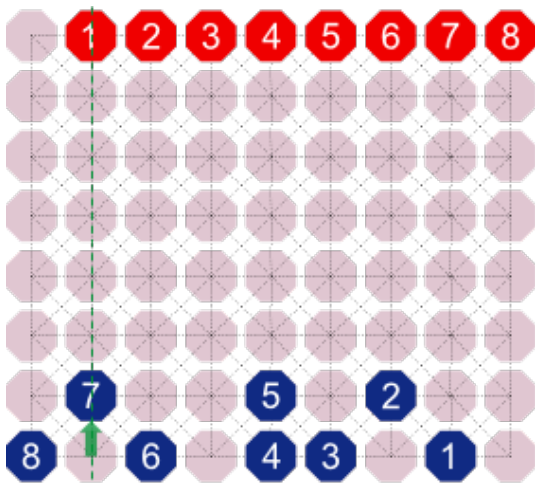
1. 自分の**いずれか**のコマを1個移動します。
2. 今移動したコマが他のコマの縦横斜めの軸上にある場合、望むなら追加手番が可能です:
  - a. 今移動したコマと1個以上の他のコマがある軸を選択します。
  - b. その軸上にある**全て**のコマの数字を合計します。
  - c. その合計値と等しい数字のコマを移動することができます。移動後、ステップ2.を繰り返します。
3. これ以上移動できない、あるいは移動したくない場合は手番を終了します。



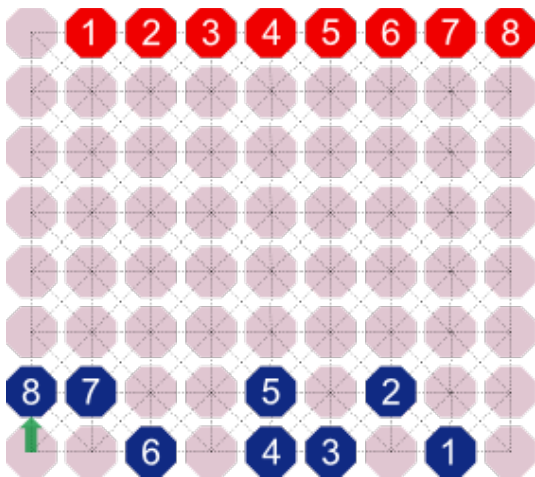
例 (分かりやすくするため赤いコマは回転): 青はまず2番のコマを移動することにした。彼には選択できる軸が3つある(水平の軸には他のコマがないため選択不可)。そして3番、5番、8番のいずれかのコマを移動するか、単に手番を終了できる。



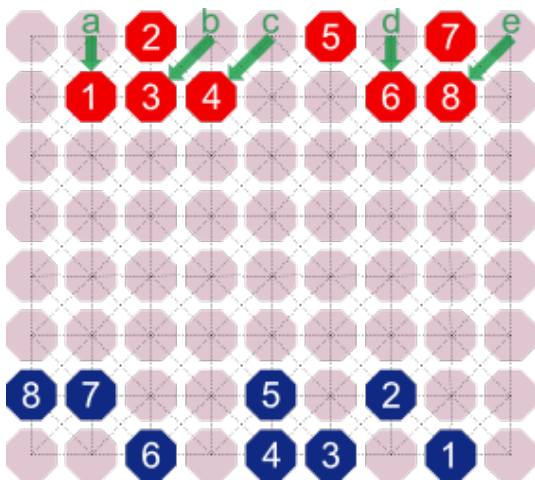
彼は5番のコマを斜めに移動することにした。すると彼には合計が7と8になる軸がある(13番のコマはないため、5番の縦列の合計13は無関係)。



彼は7番のコマを直進させ、合計が8の軸にする。



最後に彼は8番のコマを動かし、手番終了となる。



次に赤は1、3、4、6、8番のコマの移動で応じる。

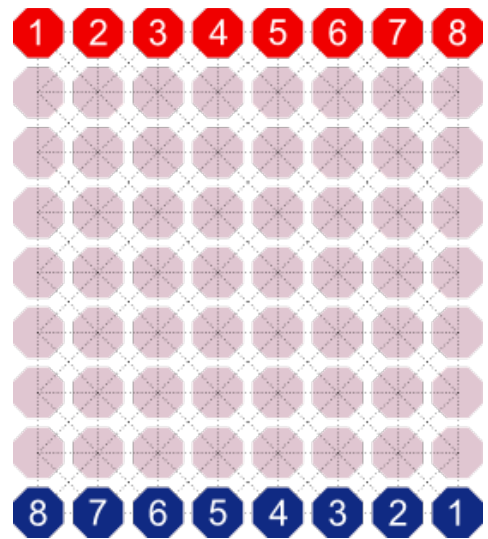
## ゲーム終了

自分の手番開始時点で移動することができない場合(つまり自分のコマが全てボード上の相手の側に到達したか、あるいは他のコマでブロックされている場合)、ゲームは終了します。

各プレイヤーは、相手の側(訳注:自分から一番遠い列)にある自分のコマの数字を合計します。合計値がより高いプレイヤーの勝ちです!両者の合計値が同じだった場合移動できずゲームを終了させたプレイヤーの勝ちです。

## 上級者向けバリエーション

- 先手有利をなくすため、**パイルール**をおすすめします: 青の初手の後、赤は、通常通り手番を行って以降のゲームを赤としてプレイするか、赤と青を交代して以降のゲームを青としてプレイするかを選択できます。もし後手が交代を選択した場合、先手が赤の初手を行い、そこからゲームを続けて青と赤は交代したままです。
- ボードに何も無い状態から始め、交互に自分の開始列の1マスに自分のコマを1個置いていきます。全てのコマをボード上に置いたら通常通りゲームをプレイします。
- ボードを90°回転させ、縦8マス横9マスで左右にプレイするのではなく、縦9マス横8マスで前後にプレイします。



Game design and rules by Markus Hagenauer.

Rulebook and art © Markus Hagenauer and Néstor Romeral Andrés.

Special thanks to Nathan Morse for revisions, narrative and figures.

Translated by Atsushi Matsumoto.